

はとほっと



▲はとほっと全景

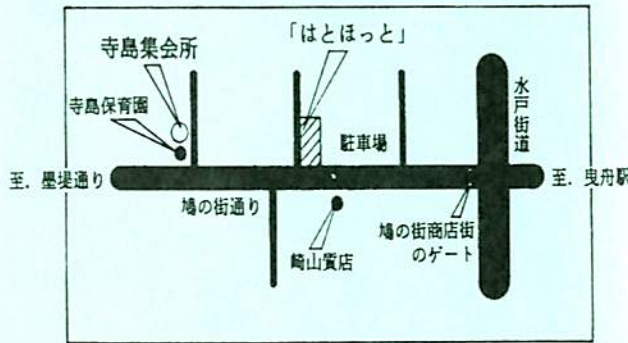
オープン



一言会と鳩の街商栄会が協同で検討してきた東向島一丁目25番まちづくり用地の整備がこのほど完成しました。

「寺言問の道」づくりのモデルパークとして位置づけられたこの広場は、商店街に位置しており、藤棚と植之込みを背にした路地尊茶号基を中心に、洋風のデザインがされています。

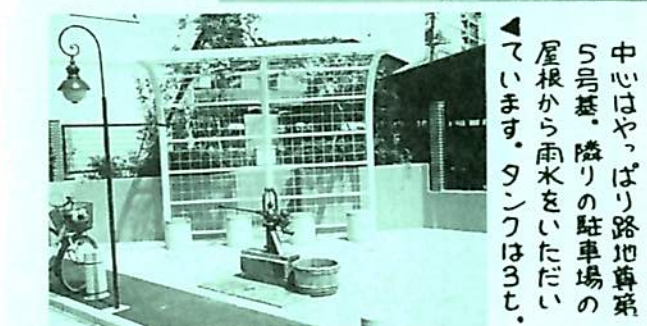
広場の名前は「はとほっと」。災害に對してほっと安心できる広場、道行く人々がほっと一息つける広場、人々が集まってイベントなどが行えるホット（温かい）な広場にしたい、といった願いが込められています。



電話ボックスも設置。利用者が後を断ちまてん。



まちづくり情報だけでなく、商店街や区のパスターも貼られる掲示板。



中心はや、ぱり路地尊茶5号基。隣りの駐車場の屋根から雨水をいただきたい。タンクは3つ。

賑やかに完成祝賀会

5月16日(土)には整備工事完成祝賀会が行われました。担当理事さんや鳩の街商栄会の方々は朝から準備で大忙し。その甲斐あってか、時折バラついていた小雨も祝賀会の間だけは小休止。商店街らしく様々なイベントも用意され、大勢の人が見守る中、区の助役さんやミスすみだも駆けつけて、賑やかな祝賀会となりました。

祝賀会はテープカットで幕を開け、同時に、空に向かってハトが放たれました。フライマックスは鏡割り。何ごとが始まったのかと集まってきた通りがかりの人々にも枴酒が配られ、乾杯の声と共に完成を祝いました。

セレモニーに引き続いて、イベントが行われました。まず、地元の子供たちによるよしつね太鼓。威勢の良い見事なバチさばぎで打ち鳴らしました。それから、商店街オリエンテーリングが始まりました。これには子供たち約50人が参加しました。商店街の店を訪ね歩いて、スタンプを集めました。商栄会ではラムネや鉢植之の模擬店も出店して、祝賀会に賑わいを添えました。

発行の寺言問を防災のまちにする会

防災 まちづくり 毎版



安心できるおの町「三」の手をめぐって

私がまちづくりスタッフです

その26

向島五丁目
高田弘さん
(一言会・理事)



昭和12年 文京区に生れる。結婚して向島に新居を構え、以来墨田区在住30年になる。職業は高田運輸㈱代表取締役。東京トラック協会、五丁目西町会、本所消防第四分団、隅田川ライオンズクラブ等、お役目を引き受け、会社で席を暖めている暇もない。

言問幼稚園の保護者会会長になったのが始まりで、言問小学校PTA会長、青少年委員と教育に徐々してきた。

一言会で検討している「三とも通りの整備」に関する担当理事会で、言問小学校周辺の道路を、電柱を移設して、「安全でゆったり歩ける道」に整備して欲しいと提案している。

「墨田区は大災害を二度経験している。ライオンズクラブで普賢岳に義後金を送っていますが、防災について、毎回言われていることだけれど、真険に考える時だと思う。安心して歩ける道路は、避難道にもなります。

向島の街には、路地尊がよく似合う。せびうちの町に、路地尊を設置したいですね。」背も高く、押出も立派な高田さん。お酒は飲めない。タバコも止めたそうで、潔外、品行方正な方の様だ。(純)

いちごことい 一寺言問/防災まちづくり瓦版

第28号 平成4年8月1日発行

編集/一寺言問を防災のまちにする会・編集局
高原純子・若木菊枝・植竹トモ
阿部羊一・明間 藤・中村淑子

編集協力/マヌ都市建築研究所

発行/一寺言問を防災のまちにする会・事務局

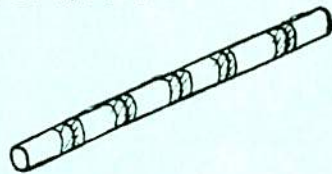
墨田区都市整備部開発促進室内
〒130 墨田区吾妻橋1-23-20 Tel.(5608)1111

一言会では6月17日に担当理事会を開き、暫定利用の要望が受け入れられた報告を聞くと同時に、利用案について検討しました。その結果、リサイクル資源のストックヤードやリサイクルのイベントに使用、まちづくりやリサイクル情報のパネル展示を行う広場としての、利用検討をしていくことになりました。

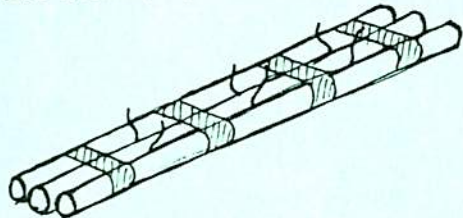
なお、塚本紙器跡地についても、近マフェンスの設置が行われる予定になっています。

○組み立て作業の流れ (350mlアクリル缶、高さ1.44mの場合)

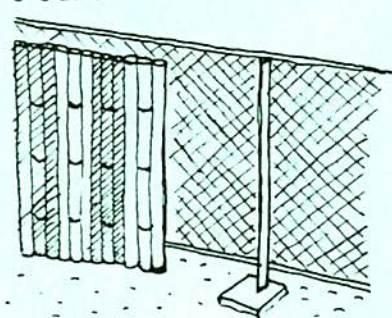
1.洗った空き缶12個を透明のテープでつなぎ、棒状にする。



2.ひもを挿み、テープで棒を3通にする。



3.缶の配色を考えながら、フェンスにひもで固定する。



寺島図書館前用地の暫定利用かなう

一言会では、瓦版第27号で紹介したように、「寺島図書館前用地の暫定利用の要望書」を墨田区へ提出していましたが、これを受けて、墨田区では暫定利用に向けての整備をすることになりました。整備の内容は、簡単な整地とフェンスの設置。具体的な整備時期と方法はまだ決まっています。一言会と地蔵坂通り商店会が要望した暫定利用がなえらるることとなり、今後、実際にどのように利用するか、どのように管理していくのかを検討していくことになりました。

担当理事会では、広場の位置づけをアピールするイベントとして、広場に空き缶の塀をつくることを検討しました。高さ約1.5mに空き缶をつなげてフェンスに固定し広場を囲むのですが、必要な空き缶の数が約5千8百個。空き缶の収集と塀の製作にかなりの時間と人手が必要そうだと、ごんごんというかな、ごんごんという方針になりました。

■広場に空き缶の塀をつくる■



一寺小で空き缶の塀作成開始! クラスで空き缶のリサイクルに取り組んでいた一寺小の先生が、地蔵坂通りの取り組みを聞いて、「これは面白い。クラスで集めた空き缶で試してみよう」と、7月4日に、その試作に取り組みました。空き缶で富士山を描こうと子供たちも意欲を燃やしていました。





梅丘中学校（世田谷区松原）
中学校のフェンス改修に伴い、学校と歩道を一体的に整備。生徒の作品の展示、生徒が集めた草を焼きつけたタイルなど、学校と地域のつながりを大切にしている。なおこの歩道は、後日、学校を中心に地域規模に延長された。



桜丘プロムナード（世田谷区桜丘）
桜丘区民センターの建設をきっかけに、区民センターと周辺の公共施設を結ぶ道を整備。歩道と車道を一体とし、歩行者優先の道をつくった。



大倉山エルム通り（横浜市港北区太尾）
商店街の21棟が一齐に建て替え。2mづつ後退して歩道をつけた。街並みはギリシャ風に統一し、アテネ市と姉妹都市提携を結んでいる。

平成4年7月12日（日）

9:00	旧墨堤之道発
	↓
10:30~11:00	梅丘中学校見学
	↓
11:15~11:45	桜丘プロムナード見学
	↓
12:00~1:00	昼食（砧公園）
	↓
2:00~3:00	大倉山エルム通り見学 （整備関係者の説明）
	↓
5:00	旧墨堤之道着・解散

まちづくり事例・見学会

7月12日、地蔵坂通りと三とも通りの担当理事会が合同でまちづくり事例の見学会を行いました。どちらも学校や公共施設と道路の関係はどうするか、交通問題にどう対処していくかなど、同じ課題を抱えているために、意見交換も兼ねて合同で行われました。見学会は、

- ① 学校と歩道を一体的に整備した世田谷区の梅丘中学校
- ② 公共施設を結ぶ道路を整備した世田谷区の桜丘プロムナード
- ③ 自主協定によりセットバック、デザインの一統一をした横浜市の大倉山エルム通り

の3か所。



◀大倉山エルム通りのデザインモチーフになった、大倉山記念館



◀巧みな話術で説明してくれた、大倉山商店街振興組合の吉原会長

当日は天気に恵まれ、じつとして汗ばむ蒸し暑さの中、12名の参加者は「こんな道路が一寺言間にもできたらいいな」「いや、ここだから合うのである」、一寺言間には一寺言間に合うものを考えたほうがいいなどと言ひ合ひながら、時間も忘れて歩き回っていました。大倉山エルム通りでは、商店街振興組合の会長さんから整備にあたっての苦労話も聞かせてもらい、充実した見学会となりました。



▲大倉山エルム通りにて



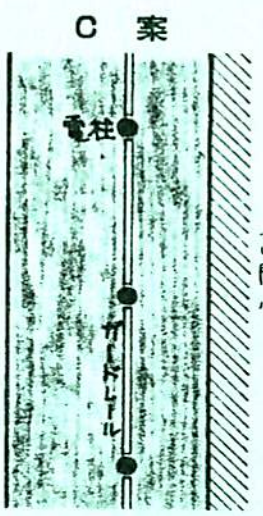
▼桜丘プロムナードにて



▲梅丘中学校にて

三とも通り 言問小前を安全で歩きやすい道に

言問小学校前の部分については、以前から「ガードレールの中に電柱が立っているため狭く、雨の日など傘をさして通ることができない。子供たちの通学のためにガードレールを付けたのに、子供たちは車道を歩いていて、役に立っていないばかりか邪魔にすらなっている」と地元では問題視されていました。



言問小

1 桜橋通りと墨堤通りの不燃化助成の制度が変わります
不燃建築物建築促進助成金交付制度の対象となっている桜橋通り地区と墨堤通り地区は、平成五年三月三十一日で事業期間が終了します。
平成五年四月一日以降は、市街地優良不燃住宅建築助成金交付制度の対象となります。
詳しくは、墨田区建築不燃指

供たちが傘をさして、安全に通れる道にする」ここに目標を検討し、担当理事から3つの案が出されました。

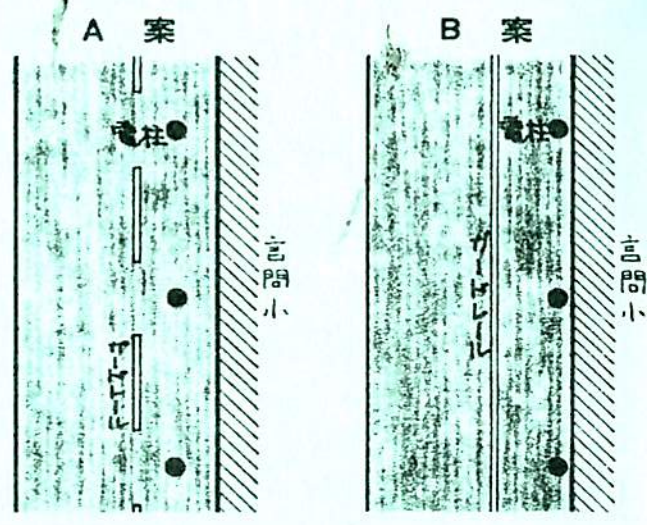
A案は「電柱の所でガードレールを切り歩かやすくする」

B案は「電柱を言問小側に移設して道を広げる」

C案は「電柱とガードレールを一列に並べる」

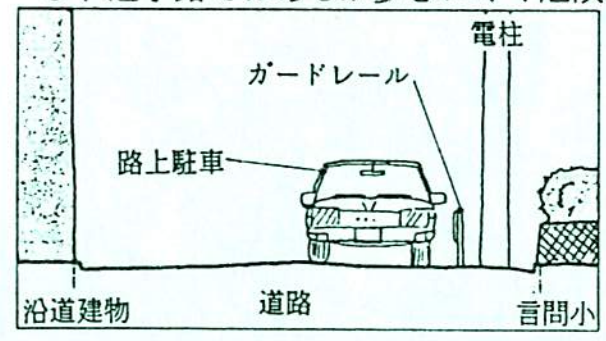
というものです。

担当理事会としてはC案を第一希望としていましたが、7月9日に開かれた理事会では、ガードレールの真下に下水が通っているなど構造上の問題も報告され、現実に可能で、早急に実施できる方法を検討することになりました。



2まちづくり委員会（フォーラム）
△7月10日（日）豊田市
豊田区、世田谷区に続いて、
今年も、十月十一日（日曜日）
に、豊島区民センターで「ま
ちづくりフォーラム'92」が
開催されることになりました。
た。ふるってご参加を。

●学校に沿ってガードレールと電柱が並び、通学路ではあるが歩きにくく危険



春の収穫はまずまずでした
三月一日から、抽選に当選したラッキ
な十四名の方々によって、有季園
（向島五丁目）の四期目の利用が始
まりました。
ミニトマトやジャガイモが、みご
とに実をむすび、今、同園では、二
度目、三度目の収穫を目指して種ま
きや植え付けが進められています。
また、五月には二回目の「利用者会議
」が開かれ、有志の方によって園の周囲の
生け垣の剪定も行われました。

有季園だより

秋には二回目の収穫祭も
ちよつと残念なのは、二、三か所、
草とりなどの手入れが充分でない
区画があります。せつかくの
作物が泣いて
ます。
十月頃には、「収穫祭」も計画さ
れていきますので、しっかり準備さ
せてください。（洋）

今号の互版は、これまでの手書きに加え、
記事の一部をワープロで書いてみました。
事務局宛に、ご感想をお寄せ下さい。

一寺言問ジャンからの手紙

（勸松下政経塾研究員
文月藤 弥生）

スウェーデンからこんにちは。私は（勸松下政経塾の研究員で
す。私が墨田区の都市整備部で「一寺言問のまちづくり」実習
をさせていたから、早三年が過ぎようとしています。そ
の折は一寺言問のみなさまに大変にお世話になりました。「お
年寄りや身体の不自由な人たちにも、やさしいまち、ってどん
なまち？」というテーマで私の研究は始まりました。一寺言問
を出發して、北のはて、福祉の国スウェーデンまで来てしま
いました。

「旧墨堤之道」の話し合い、雨の日に行われた「向島有季園」
の開園式、そして、初めて「路地尊」を目にした時のあの感動
は忘れることができません。先日「かわら版」を読ませていた
だき、みなさんのまちづくりがどんどん進んでいる様子をみて、
なつかしく、嬉しくなりました。やさしいまち、を求めて、
世界中を歩いています。一寺言問は私の理想のまちです。ふ
るさです。また、お目にかかれる日を心から楽しみにしてい
ます。



▲老人ホームで実習中の
斎藤弥生さん（写真左）

一寺言問にまちづくり視察団がやって来た



7月14日（火）、世田谷区三宿からまちづくり協議
会の一行約20名が一寺言問地区を訪れました。訪問の
目的は「防災まちづくりを始めるにあたり、一寺言問
のやり方を参考にしたいので、教えて欲しい。」とい
うもの。一言会からは会長以下10名が出迎え、旧墨堤
之道、路地尊第1号、会古路地、百花園通りを見学し
たあと、百花会館で交流会を行いました。
交流会では、道路整備やマンション建設への対応に
ついての質問が出される中、「まちづくりでは人と人
とのコミュニケーションが大切」「まちづくりはすべ
に結果が出るものではなく、百年位先を考えることも
必要」といった一言会理事からのアドバイスもありま
した。
一行は交流会の後、梅雨空のまちを向島有季園まで
歩いて見学し、バスで帰途につきました。